

相高新聞

相生市山手1-722-10
TEL (0791) 23-0800



HPのQRコード

平成三十年度が始まりました。本年度も相高新聞をよろしくお願いたします。

四月九日(月)には着任式・始業式・入学式を、十日(火)には離任式・対面式を行いました。

着任式

着任式ではまず、西校長から新着任十三名の教職員の紹介がありました。その後、代表して山内小百合事務長が挨拶しました。(新着任の教職員については詳細は、相高ブログに掲載しています)



新着任の教職員

1学期始業式

着任式に引き続き、一学期始業式を行いました。西校長は式辞の中で次のような話をされました。「本来、時間の流れの中に切れ目はないが、日本には節目節目に切れ目を設けて気持ちも新たに事に励もうとする風習があり、その一つが



「新年度」「始業式」である。今、それぞれに持っている心機一転「今年度こそは」という決意を達成するために、決意をすぐに行動に移し、それを継続することで習慣化させる、心に刷り込むことで習慣化させるという『行動の習慣』と『考え方の習慣』をともに身につけてほしい。ハードルを上げて越える努力を惜しまないでほしい、自分の無限の可能性に挑戦してほしいと願っている。」

始業式後、陶山教頭より本年度の校務分掌の発表があり、最後に中村生徒指導部長より①「修身齊家治國平天下」という儒教の言葉がある。一人一人が自分の身を修める(自分の行いを正しくすると)、家庭が整う、各家庭が整えば国が治まる、国が治まれば天下が平和になるという意味である。この言葉の



ように、一人一人が自分を律し、しっかりと行動することで相生高校をすばらしい学校にしていこう。②昇降口にはすのこが置かれ、グラウンドの階段下には土落としが置かれた。昇降口にグラウンドの土を持ち込まないようにしよう。③現在、春の交通安全運動中である。事故が多いこの時期、気が緩んで事故にならないよう、しっかり考えて行動しよう。というお話がありました。

四十二回生 入学式

心配された天気も晴れ間を見せて、四十二回生の入学を祝福しているような佳き日に、第四十二回入学式を行いました。担任が新入生一人一人を呼名し、第四十二回生として二百名の入学が許可されました。



西校長から

らは、人生でも最も意義深い青春の三カ年を本校で送る新入生にむけて、「高い志を持ち続けてほしい」「確かな自分を作り上げてほしい」「良き友を得てほしい」という三つのことを希望する。そして、本校の校訓「自律」「創造」「敬愛」のも

と、知・徳・体の調和のとれた、心豊かに、高い志を抱き、未来を主体的に切り拓いていく人間として成長していくことを心から期待しているという話がありました。



新入生代表宣誓

次に、新入生を代表して前田さんが宣誓を行いました。そして、谷川育久PTA会長よりご祝辞をいただきました。式の後には、生徒会による「校歌」の披露がありました。

入学式後には、中村生徒指導部長からスマホの使い方について、家庭でしっかり話し合いルールを作ろうという話が、新入生・保護者に行われました。さらに、保護者に対して、荒内学年主任からの挨拶の後、桑田進路指導部長から二年後から変わる入試システムについての話がありました。

離任式

十四名の教職員の離任式を行いました。まず、西校長がご退職・ご転任された先生方の本校での分掌や部活動などを紹介し、謝辞のことがばを述べました。その後、ご退職・



離任された先生方

ご転任された先生お一人一人から最後のご挨拶をいただきました。クラスや部活動での思い出、相高生への感謝の気持ち、激励の言葉など、先生方の相生高校に対する熱い思いや、相高生のことから応援する温かい気持ちも伝わってくるお話ばかりでした。

ご挨拶をいただいた後、生徒を代表して生徒会長の坂本さんがお礼の言葉を述べ、生徒会執行部が花束を贈呈しました。



ご退職・ご転任された先生方は、最後に生徒の間を通過して退場されましたが、別れを惜しむ生徒たちに囲まれる姿が印象的でした。新天地でのご活躍をお祈りいたします。

対面式

離任式に引き続き四十二回生と四十一回生の対面式を行いました。吹奏楽部による歓迎演奏の後、新入生を代表して竹田くんが挨拶を行い、生徒会長の坂本さんが歓迎の言葉を述べました。

